



置農フライド

置農ふれあい通信

【学校スローガン】

「命」を育み、「心」を育み、「人」を育む。

『トピックス』

令和2年度は「新潟大学農学部」をはじめ大学や短大等に22名が進学。県内外企業等に43名が就職し、現在元気に活躍しています。



1 置農の米が全国最優秀賞を獲得。

本校では、合鴨水稻栽培で活用した合鴨を教員と生徒で処理して食したり、牛糞を処理して圃場肥料として活用し牧草を牛の飼料にしたりするなど、命の学習や循環型社会の形成に向けた積極的な取り組みが関係者から高く評価されています。

特に、2,3年次に少人数で行う「課題研究」は毎年多大な成果を上げており、昨年は27チームかれて有意義な研究を実践。認証制度の効果実証を目指した「JGAP取得」や、環境保全と新商品開発を目指した「ニオイ木の研究」、地域食文化継承を目指した「むくり鮎の研究と伝承」等、農業科職員支援のもとで、全生徒が主体的に活動しました。

これまで先輩が築いた伝統を継承しつつ各種認証取得など新たな挑戦したことの成果が実り、「全国農業高校お米甲子園①」で最高金賞を受賞することもできました。他学科の生徒も受賞に触発されて学習意欲が一層高揚しています。

今年度も置農生の活躍にぜひご期待ください。

【目次】

- 1 「お米甲子園」最高金賞
- 2 令和3年度入学式
- 3 牧場で学ぶ人たち
- 4 温室で学ぶ人たち
- 5 水田で学ぶ人たち
- 6 果樹園で学ぶ人たち
- 7 畑で学ぶ人たち
- 8 産振棟等で学ぶ人たち
- 9 部活動に励む人たち
- 10 YouTube
「置農チャンネル」
- 11 編集者コラム

2 63 名の入学生が仲間入り。

4月9日(金)、入学式を挙行し、63名の新入生を迎えることができました。昨年は新型コロナの影響で延期されており、当日まで職員も緊張していましたが、御来賓には臨席を遠慮いただいたものの滞りなく挙行でき、一同安堵しています。

本校の入学式では農業高校らしく、自分たちで育てた花を飾ります。可愛らしく美しい花が校内外に飾られ、新任職員にとってもとても新鮮。在校生や職員の温かな心意気が感じられます。新入生が一日も早く学校に慣れて、新たな伝統を築いてくれるものと期待しています。



3 牧場で学ぶ人たち。

私たちが「蓬田牧場」と呼んで親しんでいる畜産実習施設。昨年、「畜舎」が新築され牛たちもリフレッシュ。生徒たちも素晴らしい環境で学んでいます。(今年度は「鶏舎」等も新築される予定で、現在工事が進んでいます。)お陰で除糞作業も随分楽になりました。

畜舎や鶏舎での学びは「搾乳」や「卵拾い」だけではありません。牛や鶏の飼育や生育調査は勿論、プリンやチーズ、アイスクリームやキャラメル等の新商品開発にも取り組んでいます。また、ポニーやウサギを飼育しており、生徒たちの楽しい時間になっています。



4 温室で学ぶ人たち。

温室にあるカレンダーに「失敗よりも、そこから何も学ばないことが問題である」という格言がありました。過日、温室を訪れると、作業着の娘たちが「ニオイ木の生育調査」をしており、「先生、ゴマのような香りがするよ」「接ぎ木って…」と沢山教えてくださいました。50歳を超えた私ですが、知らないことばかり。

別の日の早朝、登校してきた生徒に「置農に入って一番良かったことは何？」と聞くと、「皆で花を沢山育てられること」と回答。実験や実習を通して、優しい心と高い志が育っている様子を実感できました。



5 水田で学ぶ人たち。

常に新規挑戦を心掛ける先生方は、今年度「密苗」と呼ばれる技術習得を推進。農機具メーカー様からご指導頂いたり、改良された田植え機をお借りしたりしながら、生徒と共に日々探究しています。「子弟同業」の姿勢は生徒たちにも影響しており、過日、稲作班の生徒たちが小松小学校5年生に田植え指導を行いました。本校が目指す地域貢献意欲の育成に向けて様々な機会を頂戴しながら、置農生は着実に成長しています。

田植えが一段落すると草取り等の管理が始まります。「合鴨農法」の主役も登場しました。置農生同様彼らの活躍にも期待しています。



6 果樹園で学ぶ人たち。

早朝、果樹園を訪れると林檎の木の上に薄っすらと月が浮かんでいてとてもきれいでした。その日の実習は林檎の摘果と葡萄の摘房です。果樹園はこの時期が作業最盛期のため、先生方も大忙し。早朝訪れた際に足元を覆っていた下草が見事に刈り取られており、「7時30分から一仕事終わりました」とのこと。本当に頭が下がる思いです。

さて、生徒たちに「どうして果樹を選択したの?」と尋ねてみました。すると「家が果樹農家だから」「何となく楽しそうだから」などなど。出発点は違っても、皆で汗を流しながら日々成長し合っています。



7 畑で学ぶ人たち。

筆者は昨年初めて自分で野菜を育てました。畝作りやマルチ掛け、キュウリ用のネット張り、全てやり直し。関係者から大笑いされながら、何とか収穫にたどり着いた次第。それに比べて置農生は本当に立派です。

先生方から教えてもらいながら、畝を作るための目印となる紐を張り、円滑に作業を進めます。両手を使って巧みに紐を操る姿は正に職人技。うまい具合にマルチ掛けを行って、今回はさつま芋の植栽を完了させることができました。野菜栽培に係る専門知識の獲得は、就農希望者だけでなく全ての生徒にとって、きっと大いに役立つことでしょう。



8 「産振棟」等で学ぶ人たち。

「産業振興棟」では実験や食品加工、情報処理等、屋外では測量やチェーンソーを用いた伐採、各種環境整備など、多様な授業を展開しています。下の写真は測量実習の様子。後日開催されるコンテストに向けて外部講師をお招きし、出場チームを指導して頂きました。全員一生懸命取り組んでいました。



一方、「食品化学」の授業（上写真）では、「ペプチド結合（アミノ酸同士の結合）」が行われていました。とても難しい内容ですが、食品を加工する際に必須の知識です。生徒たちも必死にメモを取っていました。各種コンテスト等での上位入賞や、国立大学進学者を毎年のように輩出している進路実績等、輝かしい実績の基盤は、座学と実学を両輪としたカリキュラムと先生方の高い専門性に他なりません。

9 部活動に励む人たち。

演劇、吹奏楽、美術、生活、アグリカルチャーの文化部の他、野球や剣道など10の運動部があり、バレー部は男女それぞれが練習相手になったり、吹奏楽部では素人顧問も一緒に楽器演奏を練習したり、各々の目標達成に向けて精進しています。少子化が進み、他校同様各部が小規模化する中、それぞれを思いやり大切にする心が一層強まっているようで、どの部も楽しそうに充実した時間を過ごしています。



10 祝!!YouTube「置農チャンネル」

学校HP (<http://www.okitama.ah.ed.jp>) に加えてYouTube（「置賜農業高等学校」で検索または右QRコード）でも情報発信しています。農業の楽しさと本校の魅力を、ご体感ください。



【編集者コラム】・・・ ご挨拶 ・・・

4月着任時、生徒たちが育てた花を頂きました。とても可愛らしい花です。4月末、野球部の地区予選を観戦に行くと、見事に勝利。現チーム発足以降初めての公式戦勝利とのことで、保護者の方々と喜びを分かち合いました。5月、県高校総体で男子バレー部が惜敗。顧問は悔しさと充実感で号泣したそうです。「今までで一番良い試合だった」と主将も報告してくれました。本校には日々感動があります。この感動を少しでも多く発信してまいりますので、ぜひ、ご愛読くださいますようお願い申し上げます。

今後の予定 【 7月 】

- 1 木 期末テスト(～6 火)
- 8 木 スクールカンパニイ(～9)
- 12 月 農ク強化練習会①
- 13 火 薬物・交通講話
- 14 水 農業鑑定競技会②
- 15 木 クラスマッチ
- 16 金 農ク強化練習会②
- 19 月 スクールカンパニイ
- 20 火 模擬面接(3 年)
- 22 木 オープンスクール①
- 26 月 終業式、応急処置講習
- 30 金 進学希望者模擬試験